



ふるさと納税・特産品の開発

ふるさと納税は、平成28年度から本格的な取り組みに向けて、内容の整備を行っています。特に、今まで遅れていた特産品を含む返礼品のリストアップを整え、町の広報誌やホームページなどを活用して積極的な展開を図っていきます。

また、地方創生の先行型事業として、王塚古墳をモチーフにしたお菓子の創作や農産物の新たな生産や販路創出の支援など、特産品の開発事業に取り組んでいます。平成28年度も引き続き実施し、本町のブランド開発を支援していきます。

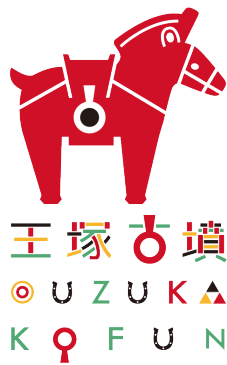


王塚古墳のロゴマークを作成 魅力を町内外に発信

金比羅山古墳(寿命)については、国の補助事業として範囲確認の調査を行い、報告書を作成しました。天神山古墳(豆田)についても国の補助事業として範囲確認調査を行いました。平成28年度も継続して調査に取り組み、平成31年度までにその成果を報告書としてまとめる予定です。

また、地方創生の先行型事業の一環として、王塚古墳を中心とする古代文化遺産の魅力・情報の発信に努め、町づくりと観光振興を進める取り組みを行ってきました。具体的には、王塚古墳と王塚装飾古墳館を案内する多言語対応音声ガイドの整備や金比羅山古墳までの遊歩道整備、王塚古墳をモチーフとしたロゴマークやグッズなどの作成を行っています。

平成28年度からは、これらの先行型事業の成果を活かして、総合戦略の4本の柱のひとつである「王塚プロジェクト」を推し進め、その魅力を町内外に発信していきます。



▲新たに作成した王塚古墳のロゴ。



▲桂川町の主な前方後円墳。

消防団と

自主防災組織への支援

安全で安心して暮らせる町づくりを推進する上で、消防団の役割は重要です。団員の技術の向上、士気の高揚を図ることを目的に、桂川町消防団主催で開催されるポンプ車操法および小型ポンプ操法大会を支援するとともに、災害時の救助・救援活動の充実強化を図るため、女性消防団員の定員確保に取り組みしていきます。

また、平成24年度に設立しました自主防災組織については、防災資機材の支援等に努めるとともに、防災対策の啓発、防災訓練の実施など組織の充実強化に取り組んでいきます。

